

問1 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問2 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問3 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問4 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問5 太陽が動くと、それとともに地面にできたかげも動く現象げんしょうを何といいますか。

問6 太陽を直接ちよくせつ見ると目をいためてしまうため、しゃ光板しゃくばんを使うのはどのようなときですか。

問7 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問8 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

問9 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

問10 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問11 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問12 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問14 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問15 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側はんたいがわにできる暗い部分のことを何といいますか。

問16 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え すべて同じ向きにできる。	ものかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問2	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問3	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 <small>ほんたいがわ</small> にできます。
問4	答え 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたく照らしてくれます。
問5	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象 <small>げんしょう</small> を「かげの動き」といいます。
問6	答え 太陽の動きや形を観察 <small>かんさつ</small> するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接 <small>ちよくせつ</small> 見るときに使います。
問7	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通って、西へと動きます。
問8	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたくて、かわいた状態 <small>じょうたい</small> になります。
問9	答え 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問10	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通って西へと動いていきます。
問11	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問12	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <small>いちか</small> が変わります。
問13	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問14	答え えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法 <small>ほうほう</small> です。
問15	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 <small>ほんたいがわ</small> にできるものを「かげ」といいます。
問16	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。